

サイエンスアゴラ 2007 / ワークショップ

「未来のサイエンスのあり方とは―激化する競争と協力の間で―」

2007 年 11 月 24 日 10:00 - 12:00

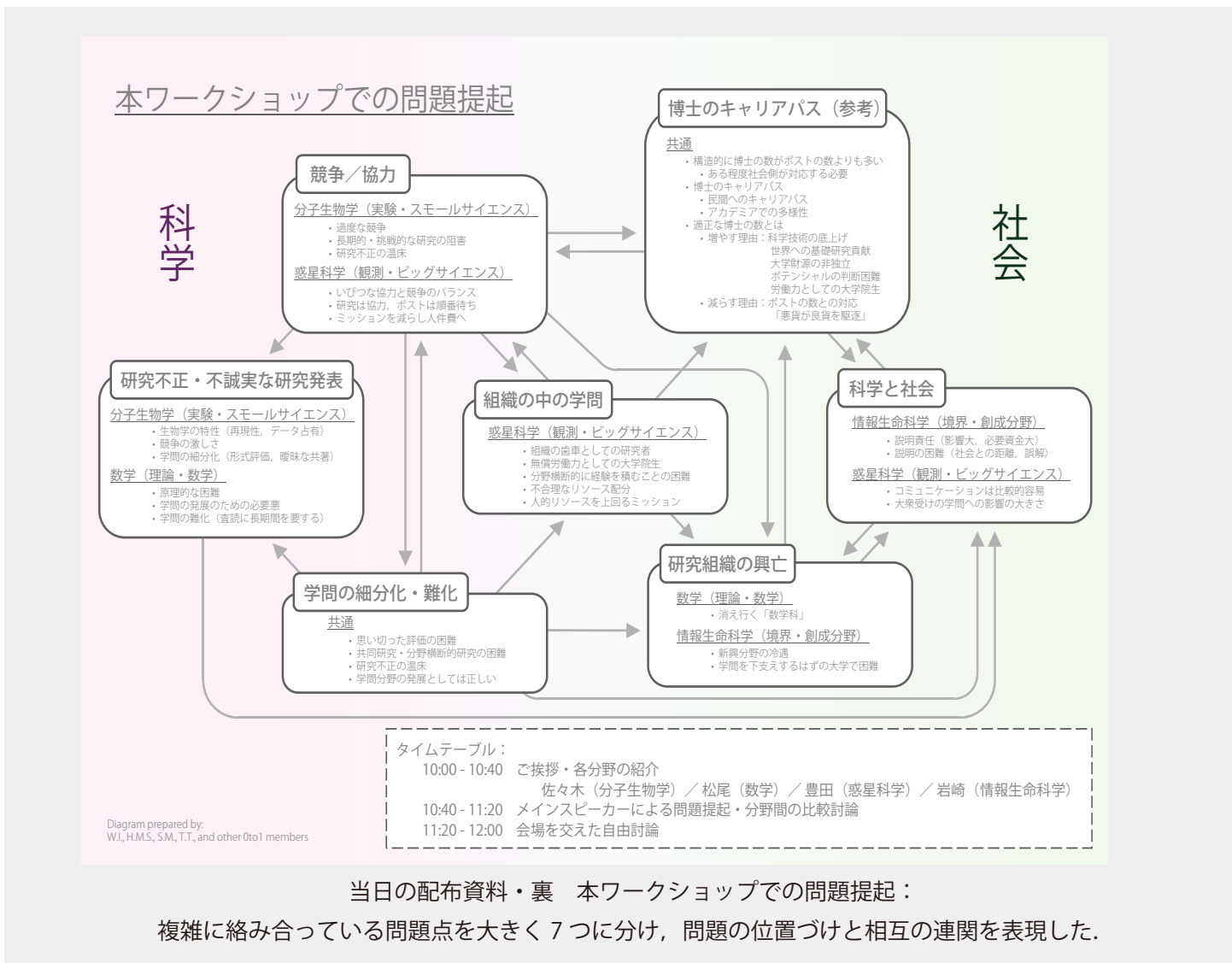
Oto1 では、科学の楽しさを伝えることと並行し、未来の科学を担う若手として「科学の現状と未来」というテーマに取り組んでいきたいと考えています。私たちは、そのための第一歩として、サイエンスアゴラ 2007 において「未来のサイエンスのあり方とは―激化する競争と協力の間で―」と題したワークショップを開催しました。

このワークショップでは、例えば捏造問題や博士のキャリアパスなど現代の科学が抱えている困難について、① 研究者を目指す大学院生の視点から提示し、② 参加者とともに認識を深め、③ 若手に何ができるかを考えていくことを目指しました。そのために、分子生物学・数学・惑星科学・情報生命科学の 4 つの分野の大学院生が中心となり、週 1 回の Oto1 ミーティングを利用し 2 ヶ月以上に渡って準備を行いました。

準備は試行錯誤の繰り返しでした。議論を積み重ねて行く中で、共通の困難だけでなく、それぞれ研究スタイルも状況も歴史も異なる分野が固有の困難を抱えていることが明確に浮き上がりました。また、他分野との議論の中で改めて自分の分野の現状が整理されることもあり、これらは、幅広い基礎科学分野のメンバーが集まっている Oto1 の特色を生かした成果だと



考えています。それぞれの経緯や理由があり直接・間接に複雑に絡み合っているさまざまな困難を、分野横断的な視点からどうやって提示すべきか提案と検討が繰り返されました。



当日の配布資料・裏 本ワークショップでの問題提起：
複雑に絡み合っている問題点を大きく 7 つに分け、問題の位置づけと相互の連関を表現した。

けわしい準備過程を踏まえ、ワークショップ当日は、大学院生 4 名のプレゼンテーションによってそれぞれの分野が抱えている困難を提示するとともに、配布資料とパネルディスカッションによってそれらを分野横断的・俯瞰的な視点から捉え、その後に会場を含めた自由討論を行う形式をとりました。土曜日の午前 10 時からという朝早い時間からの開催にも関わらず、大学院生・科学コミュニケーターから科学行政に携わる専門家まで約 50 名もの方に来場いただくことができました。議論が盛り上がるか不安もありましたが、時間を超過するほど活発な自由討論が行われ、ワークショップ終了後も会場の外で 30 分以上参加者との意見交換が続くなど盛況のうちに終えることができました。



ワークショップでの自由討論を通じて、若手を中心となって議論を行い、またそれを共有する場を設けることは決して無駄ではないというご指摘をいただくことができました。今後「科学の現状と未来」というテーマに継続的に取り組んでいく上で、今回のワークショップをさらに有意義な活動につなげていけるよう議論を一層深めると同時に、より多くの方に私たち Oto1 の活動に興味を持っていただけるよう、努力をしていきたいと考えています。

登壇者： 佐々木 浩 松尾 信一郎 岩崎 渉
豊田 文典 小寺 千絵
協力： 笠原 慧

未来のサイエンスのあり方とは
―激化する競争と協力の間で―

サイエンスアゴラ 2007 ワークショップ
2007/11/24 10:00-12:00
東京国際交流館 3F メディアホール

佐々木 浩 SASAKI Hiroshi M.
実験科学・スモールサイエンス担当
東京大学 大学院理学系研究科 生物化学専攻 博士課程 1 年。平日は大学院生。休日は大道芸人。「今満足しても、この瞬間だけで終わっては意味がない」

IWASAKI Wataru 岩崎 渉
複合領域・創成科学担当
東京大学 大学院新領域創成科学研究科 情報生命科学専攻 博士課程 1 年。情熱と誠実を二ヒルで包むクールな男。「人を動かすのは情熱と誠実だと信じています」

松尾 信一郎 MATSUO Shinichiroh
数学・理論科学担当
東京大学 大学院数理学系研究科 数理論科学専攻 博士課程 1 年。Donaldson とフィルタ先生と世界の美女をこよく愛すセクシー数学者。「無限を有限にするとは永遠になる」

KODERA Chie 小寺 千絵
司会
東京大学 大学院理学系研究科 生物科学専攻 修士課程 2 年。酵母と大腸菌と 2 人の娘を育てるマイペース母。「学振の面接まであと 3 日! ?」

豊田 文典 TOYOTA Takenori
観測科学・ビッグサイエンス担当
東京大学 大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 修士課程 1 年。髪型と几帳面さに定評のあるオシャレ系。「お金は好きだが、家計簿をつけるのはもっと好きだ! !」

YOKOYAMA Hiromi 横山 広美
Oto1 スーパーバイザー
東京大学 大学院理学系研究科 広報・科学コミュニケーション 准教授。科学コミュニケーションに新風を吹き込む熱血新米准教授。「わたしを先生って呼ばないで! !」

Oto1 東京大学 大学院理学系研究科
科学コミュニケーション活動グループ
http://sc.adm.s.u-tokyo.ac.jp/Oto1/

2007 年 11 月 24 日
佐々木 浩
ワークショップオーガナイザー、Oto1 代表

当日の配付資料・表 (左) 登壇者 4 人と司会、スーパーバイザーの顔写真とコメント。
(右) オーガナイザー (佐々木) による挨拶と本ワークショップの趣旨説明。